

静岡大学生涯学習教育研究センター

地域と大学

第3号

Newsletter No. 3, Center for Education and Research of Lifelong Learning

生涯学習機関としての大学

静岡大学教育学部長 角 替 弘 志

イギリスの大学には Extra-mural Department と呼ばれる部門が置かれているのが一般的である。Extra-muralとは、英語の辞書によれば「城壁(都市)外の、学外の」という意味であるから、文字通りに解すれば、大学の塀(壁)の外にある部門ということになるが、長い大学開放の歴史を有するイギリスにおいては、大学の教育を市民に開放するために置かれている部門であり、重要な位置を占めている。もう10年以上前になるが、私が文部省の在外研究員として滞在したリーズ大学にも Department of Adult and Continuing Education (成人教育及び継続教育部)があり、大学構内の成人教育センターの外に、近隣の都市に二つのセンターがあり、20人以上の教員スタッフを擁していた。

成人教育あるいは社会教育というと、わが国では、教養的・趣味的あるいは生活実用的な学習を連想しがちである。生涯学習もそれとの連想で捉えられ、世間的には、生涯学習とは一生学び続けることだから、高齢者の方々が年齢にもめげず学

習にいそしむことだと思われることが多い。そのことは生涯学習のなかでも大切な部分であることは確かである。しかし、それが全てでないことも確かである。



イギリスでは、成人教育とか継続教育と言った場合に、特に継続教育と言った場合には、教養的・趣味的な学習よりも、資格取得につながる専門的・職業的な学習を意味していることの方が圧倒的に多い。リーズ大学で成人及び継続教育部のゼミに参加したことがあったが、それが教育経営のゼミであったこともあり、その在籍者は全員が30～40歳代の学校やカレッジの専任あるいは非常勤の教員であった。参加している理由を聞いてみると次のプロモートに備えて資格を取得しておくとのことであった。

最近のヨーロッパでは生涯学習(Lifelong Learning)という用語が盛んに使われるようになったが、それは雇用ということと密接につながっているようである。即ち、Learn, Earn, Work, が一体のものとして捉えられているようなのである。雇用形態の違いが、成人の学習形態に違いをもたらしていると考えられることができるが、わが国でも、リカレント教育の重要性が認識されてきており、大学がそれにどのように貢献できるか、生涯学習教育研究センターに何ができるかを真剣に検討していかなければならない。

(生涯学習教育研究センター教育研究担当教官)



新設のセンター資料室内部(平成10年11月開所)

平成10年度 静岡大学公開講座が終了

本年度の静岡大学公開講座は、公開講座運営委員会（委員長－中井弘和農学部長）の企画・運営により、9月12日から11月14日の間、静岡・浜松・清水・沼津・熱海の5会場において実施されました。

3つのテーマに教官5人、1人2時間の講義が毎週一回ずつ行われ、各講義毎に専門的な質問が出されたりしました。

各会場の受講状況を以下にまとめてみました。

	静岡会場	浜松会場	清水会場	沼津会場	熱海会場
期 間	9/29～10/27	9/12～10/10	9/26～10/31	9/19～10/17	10/10～11/14
会 場	アイセル21	工学部佐鳴会館	市中央公民館	市民文化センター	市中央公民館
実 施 時 間	火・18:30～	土・14:00～	土・14:00～	土・14:00～	土・14:00～
テ ー マ	クローン人間が生まれたら	いのちの現代 PART II	癒 し	いのちの現代 PART II	癒 し
受 講 者 数	40名	41名	50名	55名	62名
修 了 者 数	38名	37名	43名	51名	56名
男 / 女 比	19/21	20/21	13/37	18/37	16/46
平 均 年 齢	男 55.2 女 41.5	男 65.6 女 52.5	男 61.4 女 46.1	男 65.9 女 62.0	男 51.5 女 53.2
次回受講希望	希 望 する 12 内 容 で 考 慮 18	16 7	6 21	23 12	14 22
開 講 日 希 望	土曜午後 3 平日の夜 27	土曜午後 19 土曜午前 4	土曜午後 26 土曜午前 2 平日の夜 1	土曜午後 24 土曜午前 7 平日の夜 2	土曜午後 29 土曜午前 5 平日の夜 8

平成10年度 静岡大学社会教育主事講習の報告

平成10年度の文部省委嘱・静岡大学社会教育主事講習は、生涯学習教育研究センター岡田厳太郎センター長を運営委員長として、平成10年7月22日から8月20日までの30日間にわたって静岡大学教育学部を主会場に静岡県立焼津青少年の家、同

朝霧野外活動センター、県立中央図書館、アイセル21などで行われました。

静岡県・神奈川県の県・市町村（教育委員会、福祉課など）職員、小・中・高校教員、大学院生68名の受講生は、生涯学習概論2単位、社会教育計画2単位、社会教育特講3単位の講義のほか、「生涯学習推進のための学習ネットワークの形成」をテーマに6班に分かれて、グループワーク演習を行う社会教育演習2単位の修得をめざしました。特に演習では宿泊研修を行い、レポート作成に受講生は夜遅くまで議論を重ね、真剣に取り組んだ風景が、ここ彼処で認められました。

なお受講生の演習レポートは、班別にまとめられて「平成10年度静岡大学社会教育主事講習研究集録」として発刊されました。また受講生全員に静岡大学から修了証が交付されました。（柴垣）



本学大学会館での社会教育主事講習受講風景
(平成10年8月)

生涯学習教育研究センター事業の実施

平成10年度生涯学習教育研究センターの主催事業として、次の事業を計画、実施いたしました。

1. 平成10年12月12日(土) 公開シンポジウム

「博物館と大学を結ぶ」『博物館学芸員の仕事』

報告者等：東京国立博物館伊藤嘉章陶磁室長
静岡県立美術館飯田真主任学芸員
静岡市立登呂博物館中野宥副主幹
フェルケール博物館西野和豊副館長
佐野美術館 坪井則子主任学芸員
島田市博物館渋谷昌彦博物館係長
名古屋市博物館水谷栄太郎学芸係長
場 所：大学会館 1階 研修室
参 加 者：教職員、学生、博物館関係者等70名

2. 平成11年2月4日(木) センター講演会

「光技術の現状と未来」

講 師：浜松ホトニクス代表取締役社長
晝馬 輝夫氏
場 所：教育学部附属教育実践総合センター
多目的実習室
参加者：教職員、学生等110名

3. 平成11年2月17日(水) 指導者研修講演会

「心理学からみた生涯学習」

共 催：静岡県総合教育センター生涯学習部
講 師：本学教育学部 内山 武治 教授
場 所：掛川市富部 静岡県総合教育センター
参加者：県センター所員、研修生等130名



公開シンポジウム「21世紀の静岡大学公開講座を考える」
会場での活発な意見交換（平成11年3月）

4. 平成11年2月20日(土) 公開シンポジウム

「学習ネットワークと生涯学習」

基調報告：埼玉大学教養学部美馬のゆり助教授
事例報告：県総合教育センター

河合省二生涯学習課長

静岡大学教育学部 大島純助教授
常葉学園短期大学 久保田力助教授
静岡大学情報学部 永野和男教授

場 所：大学附属図書館 6階
SCSメディアルーム

参 加 者：SCS参加埼玉大学、会場・教職員、
学生等30名



公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習」
SCSメディアルーム（本学附属図書館6階）での
テレビ画面を使つての基調報告（平成11年2月）

5. 平成11年3月5日(金) 公開シンポジウム

「21世紀の静岡大学公開講座を考える」

パネラー：永井 衛 前静岡大学学長、
若林淳之 前静岡学園短期大学学長
土 隆一 静岡大学名誉教授（理学部）
原秀三郎 〃（人文学部・千葉大教授）
伊奈和夫 〃（農学部）
放送大学静岡学習センター所長
志田直正 静岡県立大学国際関係学部教授
宮澤 宏 焼津市教育委員会教育長
司 会：中井弘和 農学部長
場 所：大学会館 1階 研修室
参 加 者：公開講座受講者、市町村職員、
教職員等50名

平成10年度 各学部等公開講座の実施情報

今年度も各学部等で、公開講座が実施されましたが、以下に、その状況を報告いたします。

○開学50周年記念公開講座「新世紀に向けて—20世紀とは何だったのか」7回目が終了。

静岡新聞社・SBS放送との共催事業である本講座も、前期9回のうち7回目が終了しました。

第7回：平11.2/20(土)「市場システムを越えて
～情報化時代の経済と経営～」

人文学部：高井英造、高橋洋児教授

8、9回は以下のとおり、しずぎんホール「ユーフォニア」にて行われます（すでに定員一杯）。

第8回：平11.4/24(土) 13：30～15：30

「教育は何をもたらし何を失ったか
～21世紀の教育はどこへ～」

教育学部：角替弘志、石井正春教授

第9回：平11.6/12(土) 13：30～15：30

「破局の予兆から目をそらしてこなかったか
～21世紀の地球とその後～」

理学部：鈴木 款教授

○人文学部公開講座

平成10年10月16日(金)～11月13日(金)

毎週金曜日 18：30～20：30、5回連続

テーマ：「現代社会と地球環境問題」

会場：静岡市アイセル21（市中央公民館）

受講生：42名

○教育学部公開講座

1) 女性テニス教室

平成10年9月7日～18日のうち7日間

日曜・祝日を除く 9：30～12：30

会場：静大テニスコート 受講者：30名

2) 附属教育実践総合センター公開講座

平成10年10月24日(土)～11月21日(土)

毎週土曜日 14：00～16：00、5回連続

テーマ：「今、子どもに何が起きているのか」

会場：実践総合センター教室 受講者：49名

なお、同テーマで公開シンポジウムが8/1に行われました（参加者150名）。

3) 生涯学習公開講座

平成11年2月9日(火)～10日(水)

共催：静岡県公民館連絡協議会

テーマ：「生涯学習社会の進展」

会場：静岡県立焼津青少年の家

受講者：社教主事、公民館職員等70名

○工学部公開講座

「テクノフェスタ・イン浜松」の開催

平成10年11月14日(土)～15日(日)

会場：静岡大学・浜松城北キャンパス

部会テーマ

第1部会：「おもしろ公開実験'98」

第2部会：「研究室展示」

第3部会：「企業展示」

第4部会：「学生による公開実験・展示」

両日とも多くの市民、家族連れで好評でした。

(柴垣)

研究紀要「生涯学習教育研究」への投稿募集

生涯学習教育研究センターでは、研究紀要掲載の論文を募集しています。以下の投稿規程により全学から応募できますので、奮って投稿下さい。

1) 生涯学習・社会教育関連の理論的・実証的研究に関わる未発表の学術論文等を掲載。

2) 投稿資格は、本学及び共同教育研究施設の教職員、センター研究員等。

3) 投稿原稿量は、A4判46行×40字で16ページ。

4) 投稿期限は、毎年11月末日。年1回3/31発行。

生涯学習教育研究センターホームページアドレスは、<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~lckabe/cerll/>です。(阿部)

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座実施情報をこのニュースレターに掲載し、広報いたします。新年度や今後の計画を、センターまでお寄せ下さい。TEL/FAX 238-4817が資料室・受付です。

地域と大学 第3号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

平成11年3月31日発行

〒422-8529 静岡市大谷836（理学部B棟1階）

静岡大学生涯学習教育研究センター

TEL 054-237-1111(代)

TEL/FAX

054-238-4817(資料室・受付)

事務局 静岡大学庶務課共同施設係